

ソーラー水素製造のための既存要素集積型光熱電変換セルの開発

研究代表者

工学部機械システム工学科
(環境共生システム研究センター・エネルギー技術研究部門兼務)
山根 浩二

研究協力

森田銀(現ヤンマー(株))
吉田千廣(現 修士1)

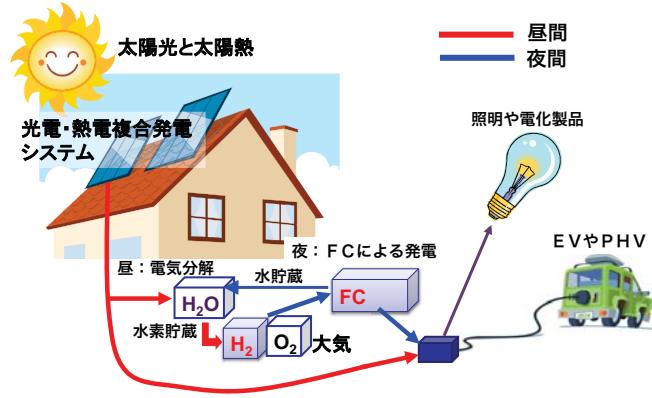
共同研究者

工学部機械システム工学科
河崎 澄 准教授・近藤 千尋 助教
工学部材料科学科
奥 建夫 教授・鈴木 厚志 助教

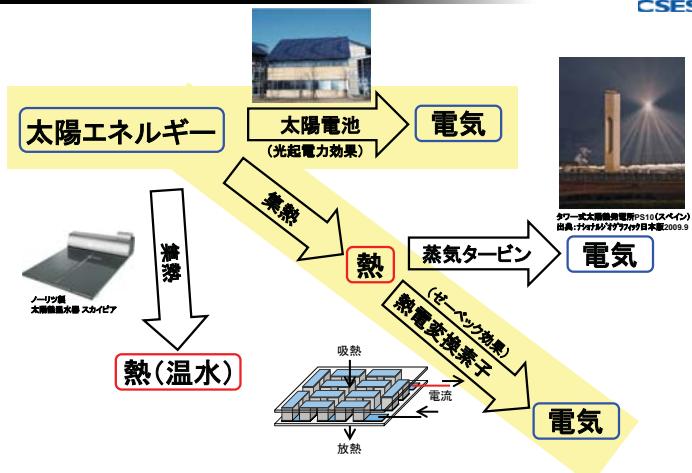
特別研究費

平成21年度: 1,645,000円
平成22年度: 145,000円

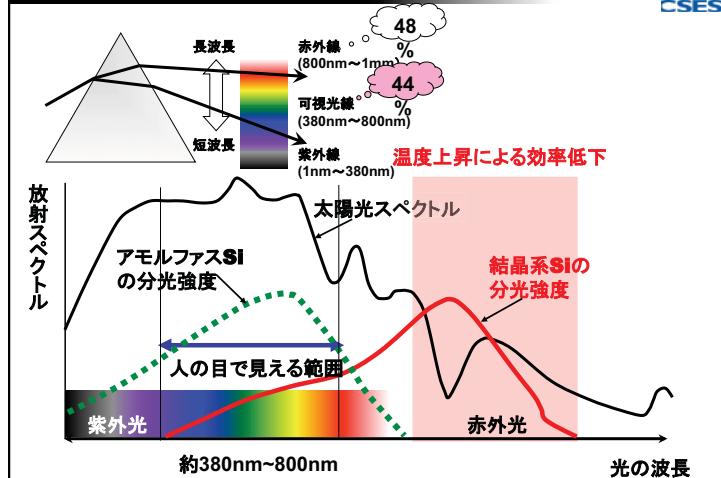
ソーラー水素貯蔵利用システム



太陽エネルギーの利用方法

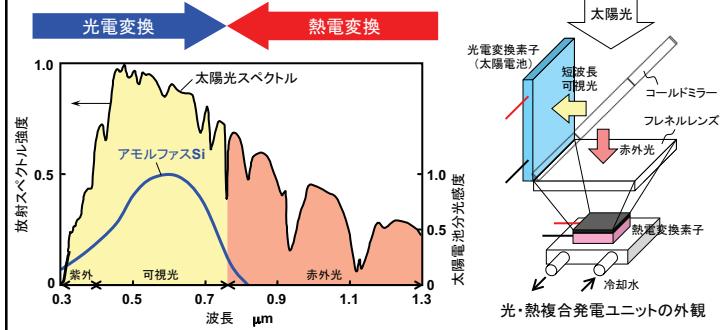


光電素子の分光特性



研究目的

太陽光を分光し、可視光以下の短波長光を光電変換素子で、長波長の赤外光を熱電変換素子で発電するシステムを設計・試作し、光・熱複合発電の優位性を明らかにする

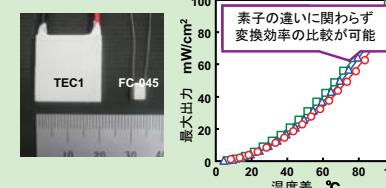


4/15
CSES

光・熱電変換素子の仕様

○ 热電変換素子

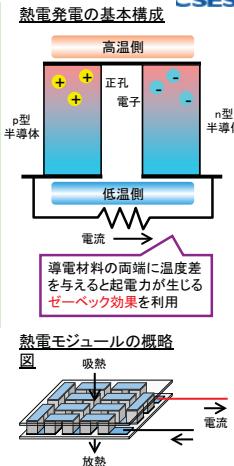
モデル	TEC1-03103	TEC1-01705	FC045-12-05L
サイズ	20×20×4.2 mm	15×15×4 mm	5×5×2.4 mm
材料	ビスマス・テルル系		



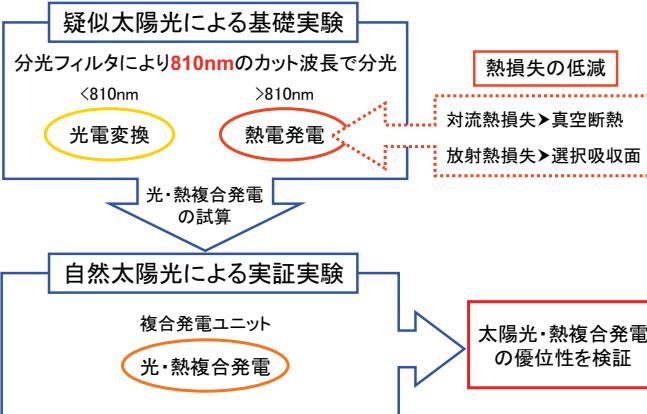
○ 光電変換素子

モデル	AM-8701
サイズ	57.7×55.1×1.8 mm
材料	アモルファスシリコン系

5/15
CSES



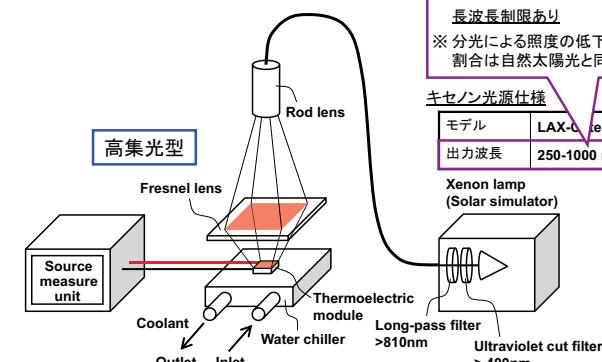
研究の流れ



6/15
CSES

熱電発電実験リグの概略図

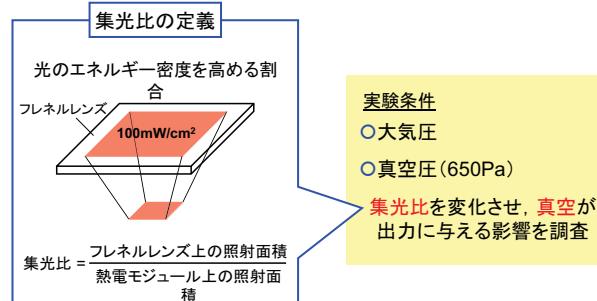
7/15
CSES



真空型熱電発電実験の概略

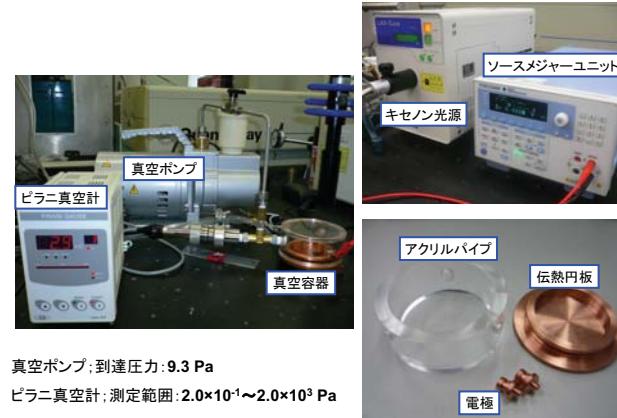
8/15
CSES

熱電モジュールを真空断熱することにより、
大気への対流熱損失の低減を図る



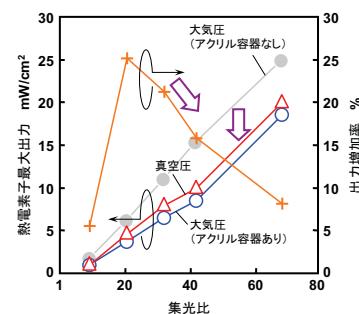
真空型熱電発電装置の外観

9/15
CSES



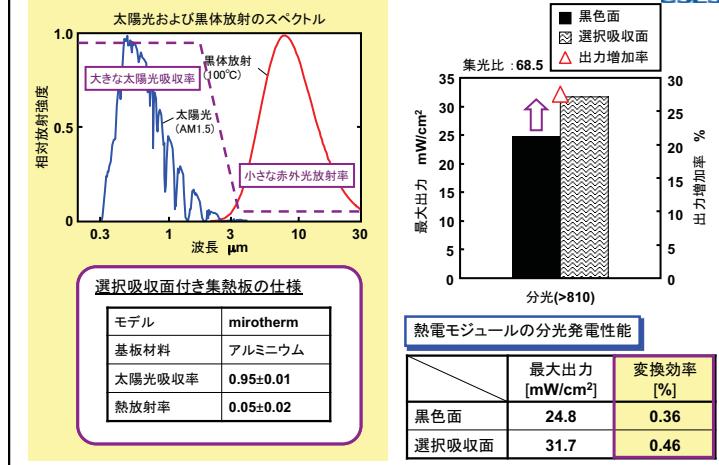
真空断熱による対流熱損失の低減効果

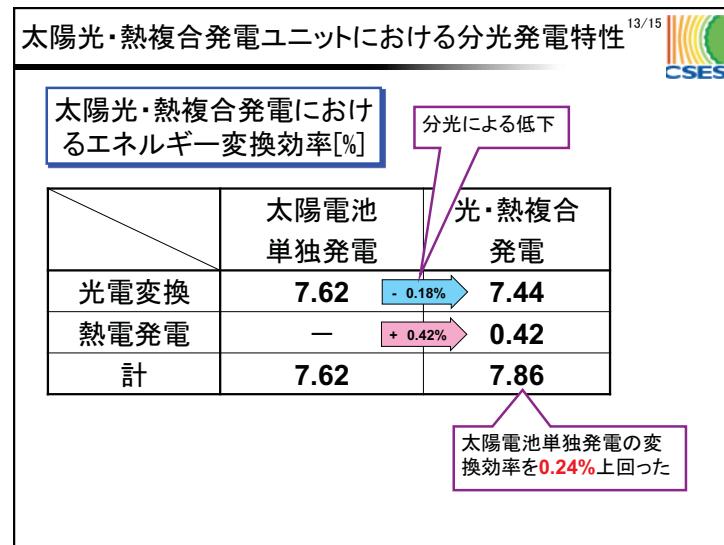
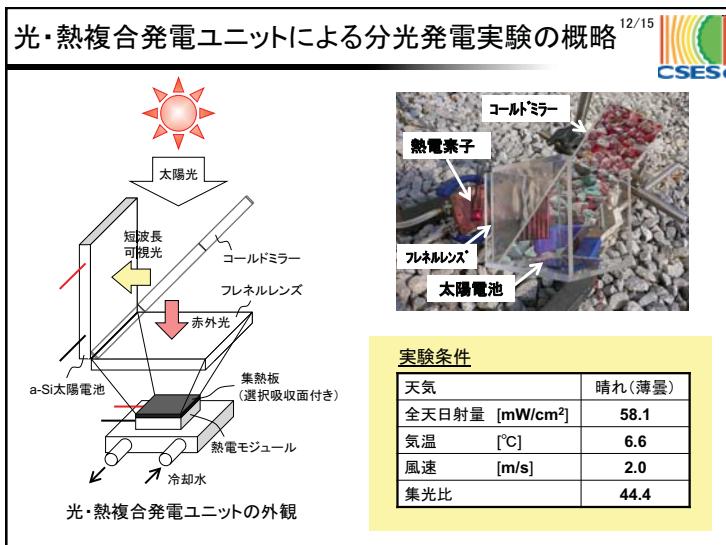
10/15
CSES



選択吸収面による放射熱損失の低減効果

11/15
CSES





まとめ^{14/15}

1. 10²Pa程度の真空中でも、対流熱損失の低減効果が得られる。

2. 自然太陽光を用いると、疑似太陽光と同等の放射照度でも、熱電モジュールの受熱量は増加し、変換効率が高まる。

3. 太陽光・熱複合発電ユニットを用いて分光発電を行うと、分光せず、光電変換のみで発電した場合の変換効率を上回り、光・熱複合発電の優位性が確認できた。

公表実績と今後の展開^{15/15}

1. 森田銀・山根浩二・河崎澄・奥建夫・鈴木厚志、「光熱電変換素子によるソーラー分光発電特性」、日本機械学会第15回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集、No.10-6, 2010/6/21・22、東京(早稲田大)

2. 吉田千廣・森田銀・山根浩二・河崎澄・近藤千尋、「光熱電変換素子を組み合わせたソーラー複合発電装置の性能」、日本機械学会第16回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集、No.11-13, 2011/6/23・24、吹田(関西大)

今後の展開

- 二年間の成果を日本機械学会論文集(原著論文)として公表
- 複合発電ユニットのモジュール試作
…環境ビジネスメッセ展示予定